

理科

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
理科	地学基礎	3	2年次B群	選択必修
使用教科書(出版社)		副教材(準備するもの)		履修の条件・連絡
高等学校 改訂 地学基礎		ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)		地学に興味関心のある生徒

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。 現在の地球の活動について観察、実験などを通して探究し、地球の構造や、プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。 地球の現在に至るまでの過程について観察、実験などを通して探究し、太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や、現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また、地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。 		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容(単元・項目)		月	学習のねらい	評価の観点
	学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	第1章 地球の すがた	第1節 地球のすがた	4	<ul style="list-style-type: none"> 地球の形や大きさについて学習する。 地球の層構造を学習し、性質や物質の違いについて理解する。
第2節 プレートの運動				5	<ul style="list-style-type: none"> プレートの分布と運動について学習する。 断層の形式と褶曲について学習する。 変成作用と変成岩について学習する。 	1 2 3
第2章 地球の 活動			第1節 地震	6	<ul style="list-style-type: none"> 地震の発生と分布の特徴について学習する。 地震波や震源の決定方法について学習する。 	1 2 3
			第2節 火山の活動	7	<ul style="list-style-type: none"> 世界および日本の火山の分布、火山の形成について学習する。 火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。 	1 2 3
2 学 期		第5章 生物の 変遷と 地球環 境	第1節 地層と化石	9	<ul style="list-style-type: none"> 地層の形成や堆積構造の構造、堆積岩の形成や種類を学習する。 示相化石や示準化石、地質時代の区分について学習する。 	1 3
			第2節 地球と生物の変遷	10	<ul style="list-style-type: none"> 先カンブリア時代から新生代第四紀までの地球と生物の変遷について学習する。 	1 3
	第3章 大気と 海洋	第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動	11 12	<ul style="list-style-type: none"> 大気の組成と圧力、大気圏の構造、大気中の水の変化について学習する。 太陽放射と地球放射、太陽のエネルギー収支を理解する。 	1 2 3 1 2 3	

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

					<ul style="list-style-type: none"> ・地球における南北の熱の輸送や地球規模の大気の大循環について理解する。 	
3 学 期	第4章 宇宙と 地球	第1節	宇宙と太陽の誕生	1	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の始まり、銀河系の構造について学習する。 ・太陽の誕生過程や、太陽の活動について学習する。 	1 2 3
	第6章 地球の 環境	第2節	太陽系と地球の誕生	2	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の構造と誕生過程、太陽系の天体について学習する。 	1 2 3
		第1節	地球環境の科学	3		
		第2節	日本の自然環境			
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な知識や学習内容を理解しているか。 ○観察や実験の基本操作を習得しているか。 		<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもって観察、実験を行っているか。 ○科学的に探究し、施行・判断・表現ができるか。 		<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象について、科学的に探求しようとしているか。
	手 段	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や小テスト ・実験や実習のレポート 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や小テスト ・実験や実習のレポート 		<ul style="list-style-type: none"> ・課題の取り組みや授業態度 ・実験や実習のレポート
		単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的に判断する。		
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業を真剣に受け、内容を理解する。 ・日頃から、地震や台風等の自然現象に興味を持つ。 ・実験のレポートや授業ノート、課題などの提出物はすべて必ず提出しよう。 					